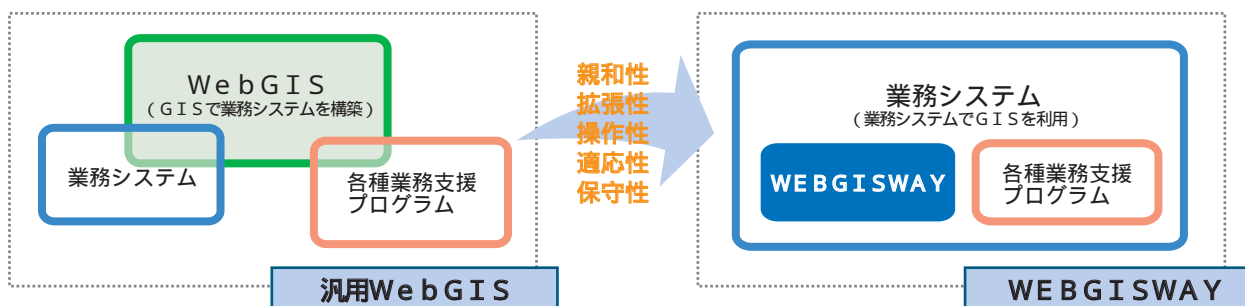


観せるGISから使うGISへ。
WEBGISWAYだからできるフルカスタマイズWebGISの構築

ウェブジスウェイ WEBGISWAY

GISは机上から、世界へ繋がるCyberSpaceへ移行。
カスタマイズにより無限の可能性を發揮。集約された空間情報をスピーディーに公開。

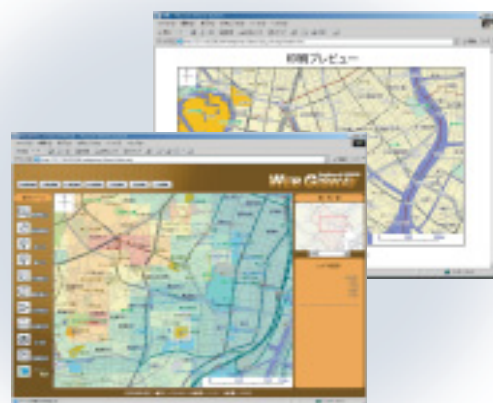
WEBGISWAYは、豊富な業務実績を活かしてWeb環境でのユーザー様の各種業務に合わせたWebGISの構築が可能です。GISエンジンを独自開発することにより可能としたフルカスタマイズによる業務システムとの融合は、汎用のWebGISでは実現できずに諦めていた、業務に即した操作性・機能を実現します。



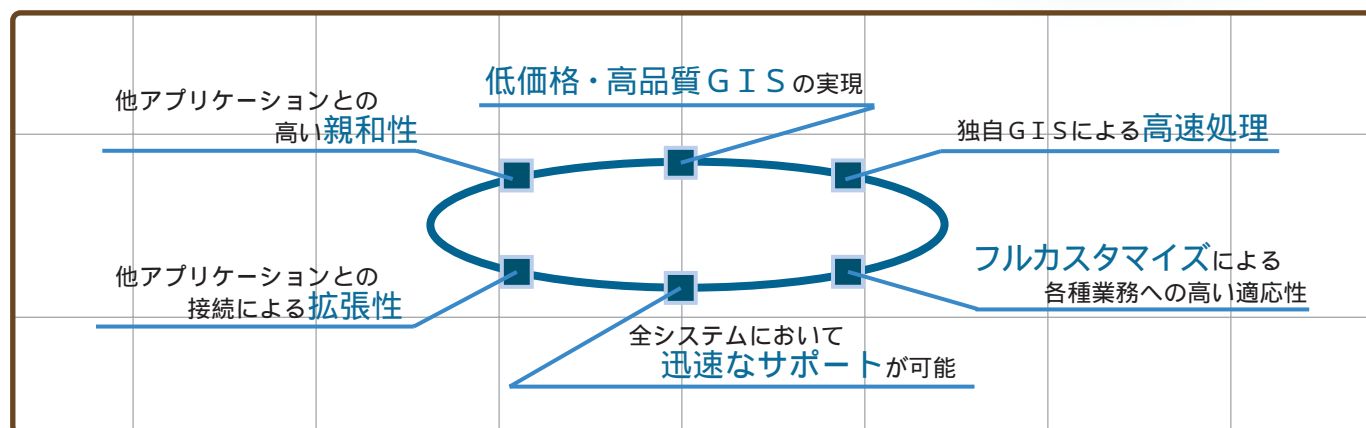
汎用WebGISのカスタマイズによって構築された業務システムでは、GISにカスタマイズした環境や範囲を依存しているため、実務に合った有用なシステムになっていなかったり、有用なシステムにするため開発の範囲を広げると、開発・維持管理コストが非常に高いものになってしまいます。WEBGISWAYでは、GISを業務システムの1つの機能として考えて各種業務支援プログラムとリンクすることで、一貫したシステムの構築を可能とします。GISは作成された総合的な空間情報をタイムリーに引き出し、空間解析・ビジュアル的なマップ情報を業務システムへフィードバックすることで総合的に業務をサポートします。また、GISを利用する上で重要となる空間情報の構築・更新についても、各種オープンフォーマットGISデータの読み込みなど、既存情報を効率的に集約して空間情報を構築します。

洗練された独自の高速検索エンジンを採用。
クライアント数の制限無く、拡張性にも優れたコストパフォーマンスを發揮。

WEBGISWAYに搭載されている、独自開発のオブジェクト指向型高速GISエンジンは、拡張性に優れ検索や分析などの特殊処理を追加するなどの機能追加も簡単に行えます。また、高速描画のために開発されたgwayフォーマットファイルはマップデータの読み込み時間を飛躍的に短縮し、ストレスのない操作性を実現しました。WEBGISWAYは、クライアントライセンスフリーのためインターネット、イントラネット上で無制限に情報公開することができます。不特定多数を対象とした情報提供サービスでの導入後の維持管理コストを抑え、より有用なサービスの構築を可能とし、行政・エリアマーケティング・防災・施設管理など、様々な分野でのGIS活用をサポートします。

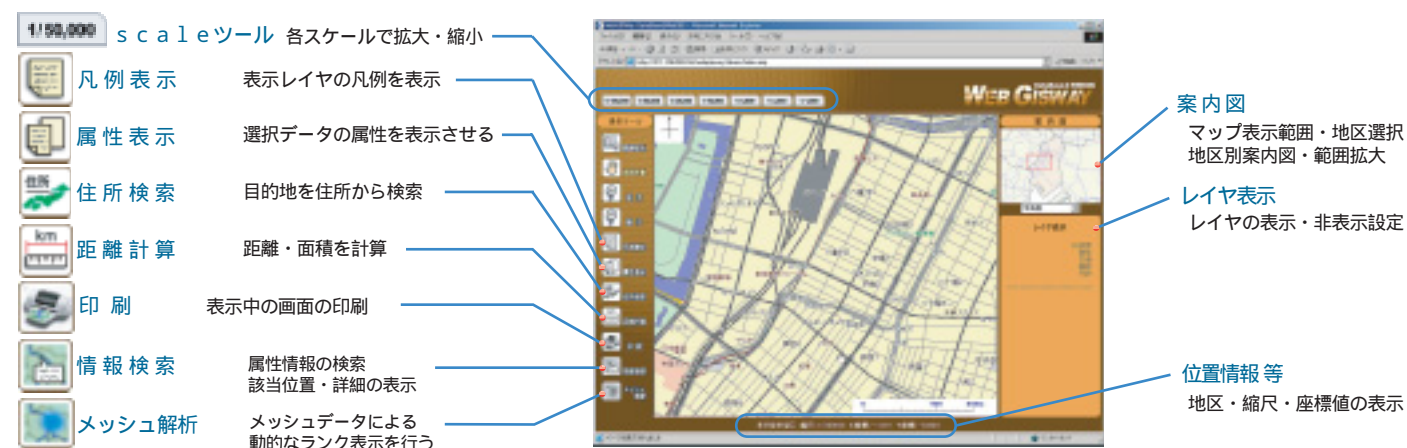


自社開発 GISエンジンによる特徴



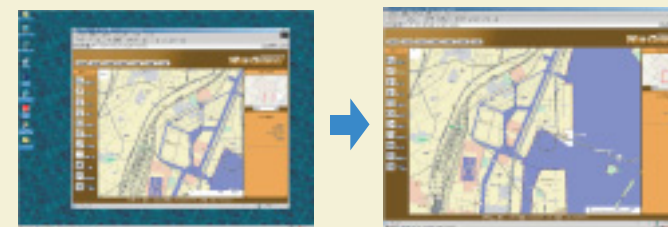
WEBGISWAYの機能

WEBGISWAYは、拡大・縮小などの基本的な機能以外に下記の機能によって操作性の高いユーザーインターフェースと、計測・解析など動的機能をユーザーに提供します。



アクティブウィンドウ機能

一般的なWebGISではブラウザ上のマップウィンドウのサイズが小さく、固定されているためにマップの表示される範囲が狭く、操作回数も多くなる為にアプリケーションサーバーへの負荷も増大します。WEBGISWAYではブラウザを最大化するとマップも同様に最大表示することが可能です。アプリケーションサーバーで作成されるマップデータを、クライアントのディスプレイに合わせ、最適化することで実現したアクティブウィンドウ機能と高速描画は、今までのWebGISの表現力を大きく変えます。



GISWAYで利用可能な空間情報

WEBGISWAYでは、様々な公的機関によるガイドラインに沿ったフォーマットや、一般的なGIS・CADフォーマット等を扱うことができ、属性情報などのデータベースとの接続も可能です。

ベクターデータ
DM (デジタルマッピングデータ) / 各種数値地図 (国土地理院) / 国土数値情報 (国土交通省) / 河川基盤地図ガイドライン / 流域地盤環境ガイドライン / 砂防GISガイドライン / 河川環境情報地図ガイドライン / ダム環境情報地図ガイドライン / GISMAP25000V (北海道地区株) / DXFファイル (AutoCAD) / shpファイル (Arcview) / mifファイル (MapInfo) / NIF2ファイル (NIGMAS) その他のフォーマットについても随時対応いたします。

ラスターデータ
BMP・TIFF・JPEG等汎用的な画像フォーマットに対応。

属性情報
CSVフォーマット・Access・Oracleなどに対応。

システム構成図

